

2021/3/30

(うと Q 世話し ニューノーマル探索日記、事の発端と今)

「お客様の立場に立って」

「相手の気持ちになって」

とは言いますが、

相手は全て人間で、

「他の生き物の立場や気持ちになって」

とっているのを耳にした事はありません。

確かに普通に生活している我々が、他の生き物の事迄考えるのは、通常余りありません。特に都会生活では。

では、翻って初めの二つはどうでしょう？

よく耳にする言葉ですが、町内会の「笑顔で挨拶、明るい街づくり」同様、看板を掲げている本人がまずやっていないのに等しく、かけ声ばかりで誰も心底痛感していません。

そして何より悪いのは、痛感していないからでしょうけれど、それをまるで「実行」していない事です。

例えば広告宣伝内容とその実態やら大人の説教とその人の実態等ですが。

言っている事やっている事がまるで違い、言っている事をまるでやっていないのですから何も実行していないのと同じです。

当然実行しない限り、何も発生しません。

残るのは文言と実態の差、即ち「嘘という残滓」だけです。

同種同族の人間に対してですら、こんな状態ですから、歯牙にすら掛けていない「他の生き物に対して」等ありよう筈がありません。

そうして此れ等三つの「相手の立場に立たない事（立ったように見せかけてきた嘘）」の、ある時点からの積み重ねが、今の「アブノーマル」を生み出してきた元凶ではなかろうかと思ひ始め、それが自分の「ニューノーマル探索」別名「ノーマルへの原点回帰探し」の発端になった様な気がしないでもありません。

(追記 そして今)

話は少し変わりますが、弊社の事業理念（企業理念）の一つに

「国際間、世代間、たまたま隣に居合わせる人とのコミュニケーション事業」

というのがあります。

その達成を考えていくと、この「相手の立場に立つ」事が出来ていない事、

そうして、皆をそうせしめてしまったのは「相手の立場に立っている様に見せかけてきた嘘」いや、もっと言うと「あなたの立場に立ちますよ、といいながら、その実、相手の立場に立つのではなく、相手の背後に回ってスパイや監視をしようとしていた」目に何度も遭い、結果、裏切られ失望され続け、相手の立場に立つ事や自分の立場に立たれる事に不信感と恐怖を覚えてきた心のトラウマが原因しているのではなかろうかと、

最近思い始めました。

だとすると、自分とはんでもない課題を背負った事業に手を出した事になるなあと、
今更ながらに驚いております。